

医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院

(2012年10月に移転し茅ヶ崎徳洲会総合病院より改称)

湘南藤沢徳洲会病院 初期臨床研修プログラム

湘南藤沢徳洲会病院 臨床研修センター

2019/4/1

湘南藤沢徳洲会病院 初期臨床研修プログラム

目次	・・・	2
I. 研修プログラムの特徴	・・・	3
・ 研修目標		
・ 研修内容		
II. 臨床研修の目標	・・・	別紙
・ 湘南藤沢徳洲会病院 臨床研修カリキュラム到達目標		
III. 指導体制	・・・	6
・ 研修規定		
・ 研修評価		
IV. 定員，収容定員および選抜基準	・・・	7
V. 研修医の処遇	・・・	8
VI. 参加施設の概要	・・・	10
1) 基幹型臨床研修病院		
2) 協力型臨床研修病院		
3) 研修協力施設		
4) 診療科研修先一覧		
VII. 研修管理委員会および研修指導医一覧	・・・	14
1) 研修管理委員会		
2) 研修指導医		

I. 研修プログラムの特徴

研修目標：

プログラムを核に総合診療方式で研修し、全人的医療を実践できる臨床医師に必要な知識・技能・態度の基礎を確立する。

研修内容：

30年間で培ったローテート研修のスタイルを取りながら、2年間を通じて基本診療科を主軸にローテーションを行う。また共通して研修すべき事項（たとえば基本的診察、臨床情報の収集・分析、清潔操作についてなど）を明示し、スーパーローテート方式による各診療科の横の連携の欠如から細切れ研修になることを避けている。さらに、2年間を通じてのローテート研修の中で、救急総合診療部を要としてプライマリケアを研修することに重点をおいている。

(例)

1年目	26週間			8.7週間		8.7週間	4.3週間	4.3週間
	内科（うち8.7週間は内科選択）			外科		救急	麻酔	産婦
2年目	8.7週間	8.7週間	8.7週間	4.3週間	4.3週間	17.3週間		
	内科	救急	僻地離島研修	小児	精神	選択科目		

- (1) 1年次には内科、外科、産婦人科、麻酔科、救急総合診療部の基本診療科を、それぞれ24・8・4・4・8週間を原則としてローテートする。

1年次のローテート先の診療科では担当医として患者を受け持ち、病歴聴取、理学的診察をおこない、診断・治療・教育計画を立案し、カルテを毎日記載し、退院時にはサマリーを記録する。各科に共通する疾患の診断治療、診察方法、手技などを研修し、カンファレンスにも積極的に参加し、症例提示の仕方や討論の方法を学ぶ。

- (2) 1年次の内科研修は総合診療内科16週間、内科選択8週間とする。

- (3) 1年次には全ての診療行為を通して、インフォームドコンセントを実践し、在宅医療、末期医療にも参加し、対応を学ぶ。電子カルテ、処方箋、伝票、診断書、診療情報提供書、死亡診断書等の各種文書の記載方法を学ぶ。

- (4) 2年次には内科（総合診療内科）、救急総合診療部、地域医療研修（僻地・離島研修）をそれぞれ8・8・8週間、小児科、精神科をそれぞれ4週間以上研修する。

- (5) 一般外来については、並行研修により8週分の研修を行う。症候・病態については適切な臨床推論プロセスを経て解決に導き、頻度の高い慢性疾患の継続診療を行うために、特定の症候や疾病に偏ることなく、原則として初期患者の診療及び慢性疾患の継続診療を含む研修を行う。当院では、一般内科、小児科、地域医療等における研修を

想定し、特定の症候や疾病のみを診察する専門外来や、慢性疾患患者の継続診療を行わない救急外来、予防接種や健診・検診などの特定の診療のみを目的とした外来を含まない。

- (6) 2年次の残りの24週間については〔選択科目〕とし、原則として内科、外科、救急総合診療部、小児科、産婦人科、麻酔科、整形外科の7科から選択する。
- (7) 〔選択科目〕については先述通りだが、本人の希望により、原則として4週間に限り以下の科目から選ぶ事が出来るものとする。
泌尿器科、脳神経外科、皮膚科、眼科、心臓血管外科、形成外科、放射線科、病理診断科、耳鼻咽喉科、緩和ケア科、地域医療研修（僻地・離島研修）
- (8) 外科選択は原則として8週間からとする。
- (9) 〔選択科目〕での院外研修は原則として4週間までとする。
- (10) 診療科ごとの研修先は、時節の研修環境を考慮し、既定の基幹型研修病院、協力型研修病院、研修協力施設の中から臨床研修センターが1ヶ所もしくは複数指定する。
- (11) 2年間を通じて、各科ローテートと重複して救急総合診療部研修も行い、疾患の初期診断治療の実際から適切なコンサルテーションができるまでを研修する。
- (12) 研修期間中にアメリカ心臓学会の標準的心肺蘇生法に準拠した「ACLS」を履修し、実際の心肺蘇生の現場でリーダーが勤められるだけの実力を養成する。
- (13) 救急総合診療部で診察した患者が入院する場合、初診の研修医が可能な限り病棟担当医になることが原則で、診断治療に伴う疾病の時間的経過が理解でき、さらに退院後も在宅医療に参加し患者を中心とした一貫した診療の流れを体験できる。
- (14) 希望者は3年次以降の専門研修プログラムに引き続き参加でき、各学会及び新専門医制度の資格を取得できる。
- (15) 専門研修終了後は、当院での研修指導医としてのポストが保障される。
- (16) 患者が医療の主体であり、必ず名字で患者名を呼び、サービス業に徹する姿勢を養う。
- (17) 医療資源の有限性を認識し、コスト意識を醸成する。
- (18) 「湘南藤沢徳洲会病院 初期臨床研修プログラム」は、研修カリキュラムと到達目標を公開している。「研修カリキュラム」は2年間を通して各診療科の枠にとらわれず研修する
- (19) 経験すべき症候（29項目）と経験すべき疾病・病態（26項目）については、下記の診療科で研修することを想定しており、研修したことの確認は、日常業務において作成する病歴要約に基づくこととし、病歴、身体所見、検査所見、アセスメント、プラン（診断、治療、教育）、考察等を含む。

湘南藤沢徳洲会病院 初期臨床研修プログラム

※★…責任を持つ科 ※○…当該症例を主に診る科 ※△…当該症例を診ることがある科

	内科	救急科	外科	小児科	産婦人科	精神科	麻酔科
経験すべき症候 (29項目)							
1) ショック	○	★	○	△	△		
2) 体重減少・いらい	○	★	○				
3) 発疹	★	○		○			
4) 黄疸	★		○				
5) 発熱	○			★			
6) もの忘れ	★						
7) 頭痛	★	○					
8) めまい	★	○					
9) 意識障害・失神	★	○					
10) けいれん発作	★	○		○			
11) 視力障害	★						
12) 胸痛	★	○	○				
13) 心停止		★					
14) 呼吸困難	★	○					
15) 吐血・喀血	★	○	○				
16) 下血・血便	★	○	○				
17) 嘔気・嘔吐	★	○	○	○			
18) 腹痛	★	○	○				
19) 便通異常(下痢・便秘)	★	○	○				
20) 熱傷・外傷		○	★				
21) 腰・背部痛	★	○	○				
22) 関節痛	★	○					
23) 運動麻痺・筋力低下	★	○					
24) 排尿障害(尿失禁・排尿困難)	○	★	○				
25) 興奮・せん妄	○	○	○			★	
26) 抑うつ	○	○				★	
27) 成長・発達障害				★			
28) 妊娠・出産					★		
29) 終末期の症候	★		○		△		

	内科	救急科	外科	小児科	産婦人科	精神科	麻酔科
経験すべき疾病・病態 (26項目)							
1) 脳血管障害	★	○					
2) 認知症	○	○				★	
3) 急性冠症候群	★	○					
4) 心不全	★	○					
5) 大動脈瘤	★						
6) 高血圧	★						
7) 肺癌	★						
8) 肺炎	★	○		○			
9) 急性上気道炎	★	○		○			
10) 気管支喘息	★	○					
11) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	★	○					
12) 急性胃腸炎	★		○				
13) 胃癌	★		○				
14) 消化性潰瘍	★		○				
15) 肝炎・肝硬変	★	○	○				
16) 胆石症	○	○	★				
17) 大腸癌		○	★				
18) 腎盂腎炎	★	○	○	○	△		
19) 尿路結石		★					
20) 腎不全	★	○					
21) 高エネルギー外傷・骨折		★					
22) 糖尿病	★						
23) 脂質異常症	★						
24) うつ病	○	○				★	
25) 統合失調症	○	○				★	
26) 依存症(ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博)	★						

プログラム責任者：日比野 真

副プログラム責任者：山本 佳樹

II. 臨床研修の目標

添付資料「湘南藤沢徳洲会病院 初期臨床研修カリキュラム到達目標」

III. 指導体制

救急総合診療部：

研修医 1 名に対し、2 年次以上の上級レジデント 1 名がマンツーマンで付き、診療に参加しつつ指導を受ける。湘南藤沢徳洲会病院救急総合診療部は本院併設型であり、全体の統括は救急総合診療部長によってなされている。

内科，外科，小児科，産婦人科，麻酔科：

研修医 1-2 名に対し、3 年次以上の上級レジデント 1 名，チーフレジデント 1 名および指導医 1 名が付き，チームとして研修医 1 人あたり 20-30 人前後の患者を受け持ち，診療の実践に当たりつつ，ベッドサイドで実践的な臨床指導を受ける。各診療科の指導責任者は全般的な研修指導監督を行う。

整形外科，泌尿器科，脳神経外科，皮膚科，眼科，心臓血管外科，形成外科，放射線科，病理診断科，耳鼻咽喉科，精神科，緩和ケア科，地域医療：

研修医 1 名に対し，指導責任者ならびに指導医が直接指導する。

研修規定：

- (1) 研修医は指導医，上級医の監督，指導のもとに，外来および入院患者の診療を担当する。
- (2) 研修医は当直予定表に従って，指導医，上級医の監督，指導のもとに，当直業務を行う。
- (3) 担当患者の検査，処置，手術には必ず参加し，診療過程に積極的に関与する。
- (4) 各科で定められた症例検討会や抄読会，病棟回診などに参加するほか，病院全体の CPC，コアカンファレンス，招聘カンファレンスなどのカンファレンスに積極的に参加する。
- (5) 回診を毎日 2 回以上行い，カルテ，退院時サマリー，手術記録，各種文書を適時記載し，指導医のチェックを受ける。
- (6) 不幸にして担当患者が死亡した場合，全例で病理解剖の許諾を得られるよう努力し，剖検に立ち会う。剖検患者の臨床経過報告書を作成し，病理診断科に提出する。
- (7) 研修期間中に臨床研修センターの認可していない施設で診療行為を行うことは許可されな

い。

- (8) 当直回数の決定は当院の規定により行い、この中に救急総合診療部の当直と、各診療科の当直が含まれる。内科系の診療科をローテート中は内科として、外科をローテート中は外科の当直業務を行う。産婦人科、小児科、脳神経外科、整形外科、心臓血管外科、麻酔科、泌尿器科、病理診断科などの診療科をローテート中はオンコール体制で、スタッフがコールされたときに同時にコールされる。休暇を取る月は、当直回数は必然的に減じられる。

研修評価：

- (1) 研修医自身の自己評価と、指導医による研修医評価の両面から、研修目標達成度を評価する。
- (2) 研修医は各診療科ローテート終了時に研修目標達成度自己評価を入力し、臨床研修センターのチェックを受ける。
- (3) 臨床研修センターでは、研修医の指導に当たるすべての上級医師に対し、研修医を評価する研修評価調査をローテーションの科毎におこなう。
- (4) 臨床研修センターでは、研修中のすべての研修医に対し、指導医及び研修指導体制を評価する研修評価調査をローテーションの科毎におこなう。
- (5) 研修管理委員会は、指導医および研修医から提出された評価表をもとに総括評価し、到達目標が達成されたことが認められれば、湘南藤沢徳洲会病院臨床研修プログラムを終了したことを明記した研修修了証書(“Certification”)を授与する。
- (6) 臨床研修センターは、指導医、コメディカルを対象に投票調査を行い、1年次および2年次研修医の中から各ひとりを“Best Resident”として表彰し、“Best Resident Award”を贈呈、その名は楯に刻まれる。

IV. 定員、収容定員および選抜基準

- 1) 定員：定員 17名(予定)とする。
- 2) 選抜方法および基準：書類選考、小論文、面接にて選抜する。面接方式は学生1名に対し面接官3名以上で行う。面接官は研修管理委員会委員を中心にほとんどの場合院長、研修センター長、看護部長、コメディカル・事務の代表各1名ずつで構成する。詳細はwebサイトに告知する。

申し込み・問い合わせ先 …… 湘南藤沢徳洲会病院内臨床研修センター

電話 ; (直通)0800-888-6201

FAX ; (直通)0466-35-1324

E-Mail ; shonan-doctor@tokushukai.jp

Web ; <https://shonan-doctor.jp/>

V. 研修医の処遇 :

身分 : 常勤医師

給与 : 1年次 : 7,267,300円

(基本手当 320,000円、総支給額 570,000円/月)

2年次 : 8,520,000円

(基本手当 360,000円、総支給額 650,000円/月)

(※各種手当てを含んだ実例)

賞与 : 年2回

手当 : 当直料等は、当院規程により支給する。

勤務日 : 原則として月曜日～金曜日、土曜日は午前勤務の週5. 5日とする。ただし祝日は休日とする。

勤務時間 : 午前8:30-午後5:00 (原則として)

土曜日の勤務については午後12時30分までとする。

休憩時間 (1時間以上、各自必要に応じて休憩を取っている)

時間外勤務は有ります。

有給休暇 : 14日/年 (原則として連続7日まで)

慶弔 : 当院規約による休暇が与えられる。

祝祭日 : 当直担当でないときは原則として義務を負わないが、担当患者の具合が悪い場合は診療上の倫理的責任を回避できない。

当直回数 : 当院規程による。

宿舎 : 至近距離に確保する (病院内規により住宅手当支給あり)

院内個室 : 3室

保険 : 各種保険、共済等利用可能

健康保険 … 徳洲会健康保険組合に加入する。保険証はカードのものが被保険者 (本人)、被扶養者 (家族) に各一枚ずつ発行される。医療機関に受診した際の治療費、けがや病気で仕事を休まなくてはならないときの所得保障 (傷病手当金)、出産時の給付 (出産手当金、出産育児一時金) 等がこの保険より出される。尚、

医療費については、診療費の自己負担が1ヶ月に3,000円を超えた場合、申請手続きをとれば、病院ないしは健保組合より払戻しされる。その際診療領収書は添付する必要があるので紛失せずに保管しておくこと。(徳洲会系列病院受診の場合に限る)

労働者災害補償保険 … 就業中や通勤途中におきた病気やケガの治療費の負担、仕事が原因でおきた病気やケガの治療費の負担等は労働者災害補償保険より補償される。

医師賠償責任保険 … 病院として加入している。この保険は医師の医療行為によって患者の生命・身体を害したことについて、法律上の賠償責任が発生した場合に、損害賠償金や争訟費用等を補償するものである。

その他の保険 … 厚生年金保険、雇用保険に加入する。

健康診断 : 年2回の健康診断を必須とする。

学会費用 : 1年目: 聴講年1回まで(補助上限1万円) 発表年1回まで(補助上限3万円)
2年目: 聴講年1回まで(補助上限12万円) 発表回数・補助上限無し

※ポスター制作費補助有り

※学会費用規定は只今、改定中につき変動する可能性あり。

福利厚生 : 院内各クラブ(野球, サッカー, テニス, バスケットボール, 手話, 英会話, サーフィン, 編み物など), 院内旅行等

アルバイトの禁止:

初期研修医のアルバイトは医師法第16条の3で「臨床研修を受けている医師は、臨床研修に専念し、その資質の向上を図るように努めなければならない。」と規定されており、医師法第16条の2では、「診療に従事しようとする医師は、2年以上、医学を履修する置く大学に附属する病院又は厚生労働大臣の指定する病院において、臨床研修を受けなければならない。」とされていることから、研修期間中はアルバイトをすることはできない。

VI. 参加施設の概要

1) 基幹型臨床研修病院

湘南藤沢徳洲会病院 (419 床)

〒251-0041 神奈川県藤沢市辻堂神台 1-5-1 TEL0466-35-1177 (代)

病院の概況： 昭和 55 年 6 月に開設され、24 時間オープン of 救急医療体制を実践し、1 次から 3 次までの救急医療、高度先進医療、予防医療、在宅医療を軸に、湘南地区の中核的総合病院として発展した。救急外来を主な舞台として、プライマリケアや救急医療の実践的な臨床研修が行なわれ、総合的な実力を備えた臨床医を育てている。

標榜診療科： 内科、腫瘍内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、人工透析内科、内分泌糖尿病内科、アレルギー科、循環器内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、外科、乳腺外科、呼吸器外科、消化器外科、肛門外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、脳血管外科、形成外科、美容外科、小児科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、小児泌尿器科、女性泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科

2) 協力型臨床研修病院

仙台徳洲会病院 (315 床)

〒981-3131 宮城県仙台市泉区七北田字駕籠沢 15 TEL022-372-1110 (代)

千葉西総合病院 (608 床)

〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作 107-1 TEL047-384-8111 (代)

聖マリアンナ医科大学病院 (1208 床)

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1 TEL044-977-8111 (代)

湘南鎌倉総合病院 (542 床)

〒242-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 TEL0462-64-1111 (代)

藤沢市民病院 (506 床)

〒251-8550 神奈川県藤沢市藤沢 2-6-1 TEL0466-25-3111 (代)

けやきの森病院 (184 床)

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山 3505 TEL0467-74-5331 (代)

北里大学東病院 (538 床)

〒252-0380 神奈川県相模原市南区麻溝台 2-1-1 TEL042-748-9111 (代)

榛原総合病院 (450 床)

〒421-0493 静岡県牧之原市細江 2887 番地 1 TEL0548-22-1131 (代)

松原徳洲会病院 (189 床)

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田 1-3-1-1200 TEL06-6346-2888 (代)

日野病院 (304 床)

〒234-0051 神奈川県横浜市港北区日野 3-9-3 TEL045-843-8511 (代)

東京西徳洲会病院 (352 床)

〒196-0003 東京都昭島市松原町 3-1-1 TEL042-500-4433 (代)

湘南厚木病院 (253 床)

〒243-8551 神奈川県厚木市温水 118-1 TEL046-223-3636 (代)

茅ヶ崎徳洲会病院 (132 床)

〒253-0052 神奈川県幸町 14-1 TEL0467-58-1311 (代)

成田富里徳洲会病院 (285 床)

〒286-0201 千葉県富里市日吉台 1-1-1 TEL0476-93-1001 (代)

鎌ヶ谷総合病院 (306 床)

〒273-0121 千葉県鎌ヶ谷市初富 929-6 TEL047-498-8111 (代)

大和徳洲会病院 (199 床)

〒242-0021 神奈川県大和市中央 4-4-12 TEL046-264-1111 (代)

3) 研修協力施設

徳之島徳洲会病院 (199 床)

〒891-7101 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7588 TEL0997-83-1100 (代)

名瀬徳洲会病院 (255 床)

〒894-0061 鹿児島県名瀬市朝日町 28-1 TEL0997-54-2222 (代)

庄内余目病院 (324 床)

〒999-7782 山形県東田川郡庄内町松陽 1-1-1 TEL0234-43-3434 (代)

日高徳洲会病院 (199 床)

〒056-0005 北海道静内郡静内町こうせい町 1-10-27 TEL01464-2-0701 (代)

帯広徳洲会病院 (152 床)

〒080-0302 北海道河東郡音更町木野西通 14 丁目 2-1 TEL0155-32-3522 (代)

共愛会病院 (378 床)

〒040-8577 北海道函館市中島町 7-21 TEL011-883-0602 (代)

白根徳洲会病院 (204 床)

〒400-0213 山梨県南アルプス市西野 2294-2 TEL055-284-7711 (代)

大隅鹿屋病院 (313 床)

〒893-0015 鹿児島県鹿児島市新川町 6081-1 TEL0994-40-1111 (代)

新庄徳洲会病院 (270 床)

〒570-0022 山形県新庄市大字鳥越字駒場 4623 TEL0233-23-3434 (代)

山北徳洲会病院 (103 床)

〒959-3942 新潟県岩船郡山北町大字勝木 1340-1 TEL0254-60-5555 (代)

喜界徳洲会病院 (104 床)

〒891-6202 鹿児島県大島郡喜界町湾 315 TEL0997-65-1100 (代)

瀬戸内徳洲会病院 (60 床)

〒894-1507 鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋字トンキャン原 1358-1 TEL09977-3-1111 (代)

屋久島徳洲会病院 (139 床)

〒574-0072 鹿児島県熊毛郡上屋久町宮之浦 2467 TEL0997-42-2200 (代)

沖永良部徳洲会病院 (132 床)

〒891-9296 鹿児島県大島郡知名町瀬利覚 2208 TEL0997-93-3000 (代)

与論徳洲会病院 (81 床)

〒891-9301 鹿児島県大島郡与論町茶花 403-1 TEL0997-97-2511 (代)

宮古島徳洲会病院 (80 床)

〒906-0014 沖縄県平良市字松原 552-1 TEL0980-73-1100(代)

皆野病院 (130 床)

〒348-8505 埼玉県羽生市上岩瀬 551 TEL048-562-3000 (代)

笠利病院 (70 床)

〒894-0512 鹿児島県大島郡笠利町大字中金久 120 TEL0997-55-2222(代)

宇和島徳洲会病院 (300 床)

〒798-0003 愛媛県宇和島市住吉町 2 丁目 6 番 24 号 TEL0895-22-2811 (代)

石垣島徳洲会病院 (49 床)

〒907-0001 沖縄県石垣市大浜字南大浜 446-1 TEL0980-88-0123 (代)

札幌南徳洲会病院 (88 床)

〒004-0801 北海道札幌市清田区里塚 1 条 2 丁目 20 番 1 号 TEL011-883-0602 (代)

山川病院 (70 床)

〒891-0515 鹿児島県揖宿郡山川町小川 1571 TEL0993-35-3800 (代)

4) 診療科研修先一覧

※診療科ごとの研修先は、時節の研修環境を考慮し、既定の基幹型研修病院、協力型研修病院、研修協力施設の中から臨床研修センターが 1 ヶ所もしくは複数指定する。

必修内科・・・湘南藤沢徳洲会病院

必修外科・・・湘南藤沢徳洲会病院

必修救急総合診療部・・・湘南藤沢徳洲会病院

必修小児科・・・湘南藤沢徳洲会病院、千葉西総合病院、藤沢市民病院

必修産婦人科・・・湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院

必修麻酔科・・・湘南藤沢徳洲会病院

必修地域医療研修・・・徳之島徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、庄内余目病院、日高徳洲会病院、帯広徳洲会病院、共愛会病院、白根徳洲会病院、大隅鹿屋病院、新庄徳洲会病院、山北徳洲会病院、喜界徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、与論徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、皆野病院、笠利病院、宇和島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、山川病院

必修精神科・・・けやきの森病院、北里大学東病院、日野病院

選択内科・・・湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、東京西徳洲会病院、湘南厚木病院、茅ヶ崎徳洲会病院

選択外科・・・湘南藤沢徳洲会病院、仙台徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、榛原総合病院、松原徳洲会病院、東京西徳洲会病院、湘南厚木病院、成田富里徳洲会病院、大和徳洲会病院

選択救急総合診療部・・・湘南藤沢徳洲会病院、東京西徳洲会病院、湘南厚木病院

選択小児科・・・湘南藤沢徳洲会病院、千葉西総合病院、藤沢市民病院

選択産婦人科・・・湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、茅ヶ崎徳洲会病院

選択麻酔科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択整形外科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択泌尿器科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択脳神経外科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択皮膚科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択眼科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択心臓血管外科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択形成外科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択放射線科・・・湘南藤沢徳洲会病院、湘南鎌倉総合病院、聖マリアンナ医科大学

選択病理診断科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択耳鼻咽喉科・・・湘南藤沢徳洲会病院

選択緩和ケア科・・・札幌南徳洲会病院、鎌ヶ谷総合病院

選択地域医療研修・・・徳之島徳洲会病院、名瀬徳洲会病院、庄内余目病院、日高徳洲会病院、帯広徳洲会病院、共愛会病院、白根徳洲会病院、大隅鹿屋病院、新庄徳洲会病院、山北徳洲会病院、喜界徳洲会病院、瀬戸内徳洲会病院、屋久島徳洲会病院、沖永良部徳洲会病院、与論徳洲会病院、宮古島徳洲会病院、皆野病院、笠利病院、宇和島徳洲会病院、石垣島徳洲会病院、山川病院

VII. 研修管理委員会 および 研修指導医一覧

1) 研修管理委員会

<外部委員>

- | | |
|-------------------|---------------------|
| ■ 前川クリニック | 前川 貢一 (院長：茅ヶ崎医師会選出) |
| ■ 湘南慶育病院 | 鈴木 則宏 (院長) |
| ■ 介護老人保健施設 茅ヶ崎浜之郷 | 山口 浩之 |

<協力型施設>

- | | |
|------------------------|--------------|
| ■ 仙台徳洲会病院 研修実施責任者 | 佐野 憲 (院長) |
| ■ 千葉西総合病院 研修実施責任者 | 金 鐘栄 (小児科部長) |
| ■ 聖マリアンナ医科大学病院 研修実施責任者 | 峯下 昌道 (教授) |
| ■ 湘南鎌倉総合病院 研修実施責任者 | 篠崎 伸明 (院長) |
| ■ 藤沢市民病院 研修実施責任者 | 西川 正憲 (副院長) |
| ■ けやきの森病院 研修実施責任者 | 堤 康彦 (院長) |
| ■ 北里大学東病院 研修実施責任者 | 宮岡 等 (院長) |
| ■ 榛原総合病院 研修実施責任者 | 金丸 隆幸 (副院長) |
| ■ 松原徳洲会病院 研修実施責任者 | 森田 剛史 (副院長) |
| ■ 日野病院 研修実施責任者 | 馬場 淳臣 (院長) |
| ■ 東京西徳洲会病院 研修実施責任者 | 渡部 和巨 (院長) |
| ■ 湘南厚木病院 研修実施責任者 | 黒木 則光 (院長) |
| ■ 茅ヶ崎徳洲会病院 研修実施責任者 | 立川 隆光 (院長) |
| ■ 成田富里徳洲会病院 研修実施責任者 | 荻野 秀光 (院長) |
| ■ 鎌ヶ谷総合病院 研修実施責任者 | 井上 和人 (院長) |
| ■ 大和徳洲会病院 研修実施責任者 | 川本 龍成 (院長) |
| ■ 徳之島徳洲会病院 研修実施責任者 | 藤田 安彦 (院長) |
| ■ 名瀬徳洲会病院 研修実施責任者 | 松浦 甲彰 (院長) |
| ■ 庄内余目病院 研修実施責任者 | 寺田 康 (院長) |
| ■ 日高徳洲会病院 研修実施責任者 | 井齋 偉矢 (院長) |
| ■ 帯広徳洲会病院 研修実施責任者 | 棟方 隆 (院長) |
| ■ 共愛会病院 研修実施責任者 | 水島 豊 (院長) |
| ■ 白根徳洲会病院 研修実施責任者 | 真鍋 治樹 (副院長) |
| ■ 大隅鹿屋病院 研修実施責任者 | 有留 大海 (医長) |

- | | |
|---------------------|-------------|
| ■ 新庄徳洲会病院 研修実施責任者 | 笹壁 弘嗣 (院長) |
| ■ 山北徳洲会病院 研修実施責任者 | 黒岩 宙司 (院長) |
| ■ 喜界徳洲会病院 研修実施責任者 | 浦元 智司 (院長) |
| ■ 瀬戸内徳洲会病院 研修実施責任者 | 高橋 和範 (院長) |
| ■ 屋久島徳洲会病院 研修実施責任者 | 山本 晃司 (院長) |
| ■ 沖永良部徳洲会病院 研修実施責任者 | 玉榮 剛 (院長) |
| ■ 与論徳洲会病院 研修実施責任者 | 久志 安範 (院長) |
| ■ 宮古島徳洲会病院 研修実施責任者 | 斉藤 憲人 (院長) |
| ■ 皆野病院 研修実施責任者 | 若山 昌彦 (院長) |
| ■ 笠利病院 研修実施責任者 | 岡 進 (院長) |
| ■ 宇和島徳洲会病院 研修実施責任者 | 保坂 征司 (院長) |
| ■ 石垣島徳洲会病院 研修実施責任者 | 池原 康一 (院長) |
| ■ 札幌南徳洲会病院 研修実施責任者 | 四十坊 克也 (院長) |
| ■ 山川病院 研修実施責任者 | 野口 修二 (院長) |

<研修委員>

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| ■ 研修管理委員長 | 宗像 博美 (院長/消化器内科) |
| ■ 臨床研修センター長 | 日比野 真 (プログラム責任者/呼吸器内科) |
| ■ 副臨床研修センター長 | 山本 佳樹 (医長/救急総合診療部) |
| ■ 委員 | 内田 祐司 (主任部長/小児科・救急総合診療部) |
| ■ 委員 | 関 藍 (部長/救急総合診療部) |
| ■ 委員 | 亀井 徹正 (総長/神経内科) |
| ■ 委員 | 宮原 潔 (部長/総合診療内科) |
| ■ 委員 | 高力 俊策 (副院長/外科) |
| ■ 委員 | 岡崎 薫 (統括部長/麻酔科) |
| ■ 委員 | 板倉 敬乃 (部長/小児科) |
| ■ 委員 | 橋口 和生 (部長/産婦人科) |
| ■ 委員 | 中野 雅行 (顧問/病理診断科) |
| ■ 委員 (看護部代表) | 津島 春美 (看護部長) |
| ■ 委員 (コメディカル代表) | 渡邊 宏樹 (リハビリテーション室長) |
| ■ 委員 (事務部代表) | 梶原 聖治 (事務部長) |
| ■ 委員 | 初期臨床研修医 |

<事務局担当>

- 研修医事務担当 福岡 智明（臨床研修センター 主任）
- 研修医事務担当 氏家 麻里奈（臨床研修センター 副主任）
- 研修医事務担当 黄川田 恵（臨床研修センター）

2) 研修指導医

- 内科 亀井 徹正 湘南藤沢徳洲会病院 総長
- 内科 宗像 博美 湘南藤沢徳洲会病院 院長
- 内科 近藤 哲理 湘南藤沢徳洲会病院 副院長
- 内科 宮原 潔 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 伊藤 恒 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 赤澤 賢一郎 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 日比野 真 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 岩渕 省吾 湘南藤沢徳洲会病院 肝胆膵センター長
- 内科 松井 圭司 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 清水 弘仁 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 藤川 智章 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 岡 真知子 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 河崎 さつき 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 永田 充 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 三澤 晴雄 湘南藤沢徳洲会病院 医長
- 内科 清水 実 湘南藤沢徳洲会病院 医長
- 内科 堀内 滋人 湘南藤沢徳洲会病院 医長
- 内科 小渡 貴司 湘南藤沢徳洲会病院 医長
- 内科 秦 仁美 湘南藤沢徳洲会病院 医員
- 内科 田中 悦子 湘南藤沢徳洲会病院 医員
- 内科 福田 稔 湘南藤沢徳洲会病院 医員
- 内科 小川 桃子 湘南藤沢徳洲会病院 医員
- 内科 田中 慎司 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 赤坂 武 湘南藤沢徳洲会病院 部長
- 内科 野村 慶英 湘南藤沢徳洲会病院 医員
- 外科 高力 俊策 湘南藤沢徳洲会病院 副院長
- 外科 小銭 太郎 湘南藤沢徳洲会病院 日帰り手術センター長
- 外科 中崎 晴弘 湘南藤沢徳洲会病院 部長

■ 外科	種村 宏之	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 外科	倉田 修治	湘南藤沢徳洲会病院	医長
■ 外科	野田 朋宏	湘南藤沢徳洲会病院	医長
■ 外科	澤村 直輝	湘南藤沢徳洲会病院	医長
■ 救急総合診療部・小児科	内田 祐司	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 救急総合診療部	関 藍	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 救急総合診療部	山本 佳樹	湘南藤沢徳洲会病院	医長
■ 小児外科	蛇口 達造	湘南藤沢徳洲会病院	顧問
■ 小児外科	鈴木 孝明	湘南藤沢徳洲会病院	顧問
■ 小児科	板倉 敬乃	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 小児科	朝倉 秋乃	湘南藤沢徳洲会病院	医長
■ 産婦人科	福島 安義	湘南藤沢徳洲会病院	名誉院長
■ 産婦人科	橋口 和生	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 産婦人科	三川 猛	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 産婦人科	水野 泉	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 産婦人科	鶴沢 芳枝	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 麻酔科	岡崎 薫	湘南藤沢徳洲会病院	統括部長
■ 麻酔科	菅井 直介	湘南藤沢徳洲会病院	顧問
■ 麻酔科	永峰 克敏	湘南藤沢徳洲会病院	医員
■ 麻酔科	西嶋 千絵	湘南藤沢徳洲会病院	医長
■ 整形外科	江原 宗平	湘南藤沢徳洲会病院	副院長
■ 整形外科	武石 浩之	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 整形外科	安部 秀顕	湘南藤沢徳洲会病院	医員
■ 整形外科	岡本 弘史	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 脳神経外科	遠藤 昌孝	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 脳神経外科	小佐野 靖己	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 脳神経外科	宇津木 聡	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 脳神経外科	溝上 康治	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 心臓血管外科	片山 郁雄	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 心臓血管外科	長塚 大毅	湘南藤沢徳洲会病院	医員
■ 皮膚科	渡邊 京子	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 泌尿器科	吉田 利夫	湘南藤沢徳洲会病院	副院長
■ 泌尿器科	吉村 一良	湘南藤沢徳洲会病院	ロボット手術センター長
■ 泌尿器科	高玉 勝彦	湘南藤沢徳洲会病院	部長

■ 眼科	山本 悟	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 眼科	川端 紀穂	湘南藤沢徳洲会病院	医員
■ 形成外科	飯田 直成	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 形成外科	上田 晃子	湘南藤沢徳洲会病院	医員
■ 放射線科	永野 尚登	湘南藤沢徳洲会病院	主任部長
■ 放射線科	横山 浩子	湘南藤沢徳洲会病院	治療部長
■ 放射線科	八木 進也	湘南藤沢徳洲会病院	部長
■ 病理診断科	中野 雅行	湘南藤沢徳洲会病院	顧問
■ 病理診断科	徳永 藏	湘南藤沢徳洲会病院	顧問
■ 外科	佐野 憲	仙台徳洲会病院	院長
■ 小児科	金 鐘栄	千葉西総合病院	副院長
■ 小児科	野間 剛	千葉西総合病院	主任部長
■ 小児科	伊達 正恒	千葉西総合病院	部長
■ 小児科	上原 研二	千葉西総合病院	副部長
■ 小児科	畠山 征	千葉西総合病院	医長
■ 小児科	小澤 綾子	千葉西総合病院	医長
■ 内科	峯下 昌道	聖マリアンナ医科大学病院教授	
■ 放射線科	阿部 達之	聖マリアンナ医科大学病院準教授	
■ 放射線科	三村 秀文	聖マリアンナ医科大学病院病院教授	
■ 放射線科	橘川 薫	聖マリアンナ医科大学病院講師	
■ 放射線科	森谷 淳二	聖マリアンナ医科大学病院助教	
■ 放射線科	小川 普久	聖マリアンナ医科大学病院講師	
■ 放射線科	森本 毅	聖マリアンナ医科大学病院講師	
■ 放射線科	藤川 あつ子	聖マリアンナ医科大学病院講師	
■ 放射線科	松岡 伸	聖マリアンナ医科大学病院准教授	
■ 放射線科	中村 尚生	聖マリアンナ医科大学病院講師	
■ 内科	北川 泉	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	十倉 満	湘南鎌倉総合病院	医長
■ 内科	守矢 英和	湘南鎌倉総合病院	統括部長
■ 内科	石岡 邦啓	湘南鎌倉総合病院	医長
■ 内科	持田 泰寛	湘南鎌倉総合病院	医長
■ 内科	日高 寿美	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	江頭 秀人	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	佐々木 亜希子	湘南鎌倉総合病院	部長

■ 内科	玉井 洋太郎	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	吉澤 和希	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	川田 純也	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	野間 聖	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	高橋 佐枝子	湘南鎌倉総合病院	副院長
■ 内科	田中 穰	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	村上 正人	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 内科	水野 真吾	湘南鎌倉総合病院	医長
■ 内科	穴戸 晃基	湘南鎌倉総合病院	医長
■ 内科	森 貴久	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 外科	篠崎 伸明	湘南鎌倉総合病院	院長
■ 外科	河内 順	湘南鎌倉総合病院	副院長
■ 外科	下山 ライ	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 外科	磯貝 尚子	湘南鎌倉総合病院	医長
■ 外科	村田 宇謙	湘南鎌倉総合病院	
■ 産婦人科	木幡 豊	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 産婦人科	福田 貴則	湘南鎌倉総合病院	部長
■ 放射線科	李 進	湘南鎌倉総合病院	統括部長
■ 小児科	佐近 琢磨	藤沢市民病院	診療科部長
■ 精神科	堤 康彦	けやきの森病院	病院長
■ 精神科	物部 長承	けやきの森病院	副院長
■ 精神科	田村 紀郎	けやきの森病院	診療課長
■ 精神科	伊吹 龍	けやきの森病院	
■ 精神科	宮岡 等	北里大学東病院	病院長
■ 精神科	齋藤 正範	北里大学東病院	科長
■ 精神科	天保 英明	北里大学東病院	
■ 精神科	澤山 透	北里大学東病院	主任
■ 精神科	大石 智	北里大学東病院	室長
■ 精神科	櫻井 秀樹	北里大学東病院	
■ 精神科	廣岡 孝陽	北里大学東病院	主任
■ 精神科	澤山 恵波	北里大学東病院	
■ 精神科	吉林 利文	北里大学東病院	
■ 外科	金丸 隆幸	榛原総合病院	副院長
■ 外科	森田 剛史	松原徳洲会病院	副院長

■ 外科	総谷 哲矢	松原徳洲会病院	医長
■ 精神科	馬場 淳臣	日野病院	院長
■ 精神科	武田 秀輔	日野病院	医局部長
■ 精神科	桑折 勇	日野病院	
■ 精神科	木村 竹男	日野病院	
■ 精神科	一村 美恵	日野病院	
■ 精神科	田頭 小百合	日野病院	
■ 外科	渡部 和巨	東京西徳洲会病院	院長
■ 外科	高木 睦郎	東京西徳洲会病院	部長
■ 外科	数納 祐馬	東京西徳洲会病院	医長
■ 外科	飯島 広和	東京西徳洲会病院	部長
■ 内科	山本 龍一	東京西徳洲会病院	部長
■ 内科	堂前 洋	東京西徳洲会病院	副院長
■ 内科	阿多 智之	東京西徳洲会病院	副部長
■ 内科	瀧宮 顕彦	東京西徳洲会病院	部長
■ 乳腺腫瘍科	佐藤 一彦	東京西徳洲会病院	副院長
■ 救急科	川邊 貴史	東京西徳洲会病院	医員
■ 外科	黒木 則光	湘南厚木病院	院長
■ 外科	川元 俊二	湘南厚木病院	部長
■ 外科	山本 信行	湘南厚木病院	部長
■ 外科	翁長 朝浩	湘南厚木病院	部長
■ 内科	松下 達彦	湘南厚木病院	
■ 内科	野間 聖	湘南厚木病院	部長
■ 救急科	安井 誠一	湘南厚木病院	副院長
■ 内科	塚本 玲三	茅ヶ崎徳洲会病院	名誉院長
■ 産婦人科	野口 有生	茅ヶ崎徳洲会病院	総長
■ 泌尿器科	立川 隆光	茅ヶ崎徳洲会病院	院長
■ 内科	田中 つや子	茅ヶ崎徳洲会病院	部長
■ 産婦人科	木崎 尚子	茅ヶ崎徳洲会病院	医員
■ 外科	荻野 秀光	成田富里徳洲会病院	院長
■ 外科	村山 弘之	成田富里徳洲会病院	部長
■ 緩和ケア科	山口 法隆	鎌ヶ谷総合病院	診療部長
■ 外科	川本 龍成	大和徳洲会病院	院長
■ 外科	竹上 智浩	大和徳洲会病院	主任部長

■ 外科	大西 貴久	大和徳洲会病院	部長
■ 地域医療	藤田 安彦	徳之島徳洲会病院	院長
■ 地域医療	水田 博之	徳之島徳洲会病院	副院長
■ 地域医療	松浦 甲彰	名瀬徳洲会病院	院長
■ 地域医療	砂川 剛	名瀬徳洲会病院	副院長
■ 地域医療	金子 好郎	名瀬徳洲会病院	副院長
■ 地域医療	小田切 幸平	名瀬徳洲会病院	部長
■ 地域医療	平島 修	名瀬徳洲会病院	部長
■ 地域医療	高橋 正憲	名瀬徳洲会病院	医長
■ 地域医療	寺田 康	庄内余目病院	院長
■ 地域医療	菊池 正	庄内余目病院	副院長
■ 地域医療	富樫 真二	庄内余目病院	院長
■ 地域医療	木村 憲幸	庄内余目病院	院長
■ 地域医療	大利 昌宏	庄内余目病院	院長
■ 地域医療	寺田 康	庄内余目病院	院長
■ 地域医療	井齋 偉矢	日高徳洲会病院	院長
■ 地域医療	上原 明彦	日高徳洲会病院	部長
■ 地域医療	糸山 貴浩	日高徳洲会病院	医長
■ 地域医療	棟方 隆	帯広徳洲会病院	院長
■ 地域医療	有山 悌三	帯広徳洲会病院	副院長
■ 地域医療	小沼 由治	帯広徳洲会病院	部長
■ 地域医療	水島 豊	共愛会病院	院長
■ 地域医療	金子登	共愛会病院	副院長
■ 地域医療	立石晋	共愛会病院	副院長
■ 地域医療	吉村英敦	共愛会病院	部長
■ 地域医療	福島安義	共愛会病院	総長
■ 地域医療	佐藤賢一郎	共愛会病院	部長
■ 地域医療	辻川洋	共愛会病院	部長
■ 地域医療	真鍋 治樹	白根徳洲会病院	副院長
■ 地域医療	石川 真	白根徳洲会病院	院長
■ 地域医療	飯田晴康	白根徳洲会病院	部長
■ 地域医療	佐々木美和子	白根徳洲会病院	医長
■ 地域医療	有留 大海	大隅鹿屋病院	医長
■ 地域医療	田村幸大	大隅鹿屋病院	副院長

■ 地域医療	貴島沙織	大隅鹿屋病院	部長
■ 地域医療	池田悠人	大隅鹿屋病院	医員
■ 地域医療	井戸弘毅	大隅鹿屋病院	名誉院長
■ 地域医療	利光鏡太郎	大隅鹿屋病院	副院長
■ 地域医療	木村圭一	大隅鹿屋病院	部長
■ 地域医療	能美昌子	大隅鹿屋病院	
■ 地域医療	朝戸裕二	大隅鹿屋病院	部長
■ 地域医療	中馬隆広	大隅鹿屋病院	部長
■ 地域医療	松瀬悦朗	大隅鹿屋病院	副院長
■ 地域医療	中山義博	大隅鹿屋病院	院長
■ 地域医療	麓英征	大隅鹿屋病院	部長
■ 地域医療	江口徹郎	大隅鹿屋病院	医長
■ 地域医療	有馬喬	大隅鹿屋病院	医長
■ 地域医療	辻貴裕	大隅鹿屋病院	副院長
■ 地域医療	前藺順之	大隅鹿屋病院	
■ 地域医療	笹壁 弘嗣	新庄徳洲会病院	院長
■ 地域医療	黒岩 宙司	山北徳洲会病院	院長
■ 地域医療	浦元 智司	喜界徳洲会病院	院長
■ 地域医療	高橋 和範	瀬戸内徳洲会病院	院長
■ 地域医療	山本 晃司	屋久島徳洲会病院	院長
■ 地域医療	新家 佳代子	屋久島徳洲会病院	副院長
■ 地域医療	玉榮 剛	沖永良部徳洲会病院	院長
■ 地域医療	久志 安範	与論徳洲会病院	院長
■ 地域医療	斉藤 憲人	宮古島徳洲会病院	院長
■ 地域医療	若山 昌彦	皆野病院	院長
■ 地域医療	後藤 敏夫	皆野病院	部長
■ 地域医療	岡 進	笠利病院	院長
■ 地域医療	保坂 征司	宇和島徳洲会病院	院長
■ 地域医療	貞島 博通	宇和島徳洲会病院	総長
■ 地域医療	筋浦 立成	宇和島徳洲会病院	部長
■ 地域医療	城間 伸雄	宇和島徳洲会病院	部長
■ 地域医療	大久保 正一	宇和島徳洲会病院	医長
■ 地域医療	池原 康一	石垣島徳洲会病院	院長
■ 緩和ケア科	四十坊 克也	札幌南徳洲会病院	院長

- 緩和ケア科 加藤 久昌 札幌南徳洲会病院 医長
- 緩和ケア科 武藤 修一 札幌南徳洲会病院
- 地域医療 野口 修二 山川病院 院長

地域医療初期臨床研修カリキュラム

■ 研修施設

所在都道府県	二次医療圏	名称
鹿児島県	奄美	徳之島徳洲会病院 (病院施設番号:030951)
鹿児島県	奄美	名瀬徳洲会病院 (病院施設番号:031000)
山形県	庄内	庄内余目病院 (病院施設番号:031060)
北海道	日高	日高徳洲会病院 (病院施設番号:031061)
北海道	十勝	帯広徳洲会病院 (病院施設番号:031070)
北海道	南渡島	共愛会病院 (病院施設番号:031121)
山梨県	中北	白根徳洲会病院 (病院施設番号:031122)
鹿児島県	肝属	大隅鹿屋病院 (病院施設番号:031123)
山形県	最上	新庄徳洲会病院 (病院施設番号:031124)
新潟県	下越	山北徳洲会病院 (病院施設番号:032540)
鹿児島県	奄美	喜界徳洲会病院 (病院施設番号:033277)
鹿児島県	奄美	瀬戸内徳洲会病院 (病院施設番号:033278)
鹿児島県	熊毛	屋久島徳洲会病院 (病院施設番号:033279)
鹿児島県	奄美	沖永良部徳洲会病院 (病院施設番号:033280)
鹿児島県	奄美	与論徳洲会病院 (病院施設番号:033281)
沖縄県	宮古	宮古島徳洲会病院 (病院施設番号:033295)
埼玉県	秩父	皆野病院 (病院施設番号:041002)
鹿児島県	奄美	笠利病院 (病院施設番号:041003)
愛媛県	宇和島	宇和島徳洲会病院 (病院施設番号:041004)
沖縄県	八重山	石垣島徳洲会病院 (病院施設番号:041005)
鹿児島県	南薩	山川徳洲会病院 (病院施設番号:076095)

僻地・離島初期臨床研修カリキュラム

研修一般目標(GIO)

へき地や離島での医療・福祉資源に制約のある地域特性を理解し、救急医療、初期治療ができ、地域での保健活動や健康増進の行える臨床医として成長する為に、日本の医療におけるへき地離島がどのようなものかを知り、単に「医学」という学問だけでなく「保健医療」という社会的側面を考慮し、特定の診療科にとらわれない総合診療を主体とした自立診療を経験する。

研修行動目標(SBO)

- へき地や離島の中小病院およびその附属診療所や施設が健康増進、健康維持に果たす機能と役割を述べるができる。
- へき地や離島の地域特性（高齢化や限られた医療・福祉資源や医療体制の問題）が患者の罹患する疾患、受療行動、診療経過などにどのように影響するかを述べるができる。
- 特定の診療科にとらわれない総合診療と全人的医療を行うに当たり、チーム医療や他職種との連携の重要性を認識した診療をする。
- 慢性疾患をフォローする為の定期検査、健康維持に必要な患者教育（食生活、運動、喫煙防止または禁煙指導など）、スクリーニング検査、予防接種など高齢者、慢性期医療の現状を把握して診療を行うことができる。
- へき地や離島において、患者の問題解決に必要な医療・福祉資源を挙げ、その地域または都市部の各機関に相談・協力ができる。
- 診療情報提供書や介護保険のための主治医意見書、入院から退院までのソーシャルワークの計画やリハビリテーションのオーダーの補助ができる。
- 疾患のみならず、生活者である患者に目を向け、患者とその家族の要望や意向、地域の実情を十分に尊重しつつ問題解決する。
- へき地や離島でのトランスポートの方法について判断できる。
- 問題解決に必要な情報を、適切なリソース（教科書、二次資料、文献検索）を用いて入手、利用することができる。
- 癌患者や脆弱高齢者の終末期に際し、患者の自立性や選考を尊重し、その背景や家族、医療・福祉資源の状況を考慮に入れ、緩和治療、終末期ケアおよび臨終に際する。

	研修医評価	担当指導医評価
僻地・離島の特徴ある疾患・疾病構造を理解し、治療法について述べる ことができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
僻地・離島の社会的文化的特徴と、歴史について述べる ことができる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
高齢者の生理、疾病構造を理解し、無理のない 診療計画が立案できる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
訪問看護にチームの一員として参加できる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
貧富の差に関わらず、公平な医療ができる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
特定診療科にとらわれず、プライマリケア診療 ができる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
鎮痛剤の特徴を知り、適切な除痛治療が できる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
ターミナルケアに際し、家族に配慮できる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
僻地・離島の予防医療活動に参加し、患者の 啓蒙ができる。	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E
僻地・離島医療の問題点について改善点を 述べる ことができる	A・B・C・D・E	A・B・C・D・E